

(A)

6号ハラウ20字流 2年又後(回)子肉

→ 新報紅鵲 一 就 55

4 55

55

紅鵲は昭和五年ころ東京大阪の間に
ついに連載した物で挿画は矢野橋村さんが描
いた。挿画の大家が描く小説の挿画をかして
このので一回の挿画が出るまでに
おが立つたがその多くは不成功であつたが
この時とたいた成功であつた。

流行物にも
おもしろい
用された
カ
カ
カ

うくの

16

小説の方も幸ひに当つて紅鵲と
ヤ料理が出来たし脚色も
リ、お子割では島田の君が大阪で
大行君が東京で主演の役もあつた
お子割は前川徳之助君が大坂では
君が主演の映画ではそのころの日活と松竹下加茂
とマキノが同時上映をやら
に描いた。地方に三社劇団も流れた。池田
もあつたこと事である。

今更の「新報紅鵲」は原型に據つて

日活時代の「中山七重」の脚本草紙の強さを
おたときだけに「紅鵲」の大当りが私を
利益したことは大きい